

2 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾患名	取扱い患者数	疾患名	取扱い患者数
・ベーチェット病	124人	・モヤモヤ病(ウィリス動脈輪閉塞症)	35人
・多発性硬化症	61人	・ウェゲナー肉芽腫症	8人
・重症筋無力症	95人	・特発性拡張型(うっ血型)心筋症	144人
・全身性エリテマトーデス	308人	・多系統萎縮症	42人
・スモン	1人	・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	1人
・再生不良性貧血	36人	・膿疱性乾癬	21人
・サルコイドーシス	143人	・広範脊柱管狭窄症	8人
・筋萎縮性側索硬化症	44人	・原発性胆汁性肝硬変	36人
・強皮症, 皮膚筋炎及び多発性筋炎	308人	・重症急性膵炎	7人
・特発性血小板減少性紫斑病	172人	・特発性大腿骨頭壊死症	19人
・結節性動脈周囲炎	37人	・混合性結合組織病	38人
・潰瘍性大腸炎	348人	・原発性免疫不全症候群	2人
・大動脈炎症候群	18人	・特発性間質性肺炎	16人
・ピュルガー病	11人	・網膜色素変性症	39人
・天疱瘡	16人	・プリオン病	0人
・脊髄小脳変性症	72人	・原発性肺高血圧症	3人
・クローン病	147人	・神経線維腫症	21人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	0人	・亜急性硬化性全脳炎	1人
・悪性関節リウマチ	5人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	0人
・パーキンソン病関連疾患	253人	・特発性慢性肺血栓栓症(肺高血圧型)	3人
・アミロイドーシス	0人	・ライソゾーム病(ファブリー[Fabry]病)含む	0人
・後縦靭帯骨化症	53人	・副腎白質ジストロフィー	0人
・ハンチントン病	0人		

(注)「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

3 病院・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	① 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 ② 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。		
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	1か月に1回程度		
剖検の状況	剖検症例数	63 例	剖検率 12.2 %

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
転座型白血病の分子機構と分子標的療法	三谷 絹子	内科学(血液)	9,300,000	補委 文部科学省
発生工学的手法を用いた転写因子Runx1の造血幹細胞発生における機能の解析	牧 和宏	内科学(血液)	900,000	補委 学術振興会
Fisher症候群モデル動物の樹立	船越 慶	内科学(神経)	1,300,000	補委 学術振興会
新しく確立した乳幼児急性脳症における中枢性ベンゾジアゼピン受容体の脳内分布	今高 城治	小児科学	1,100,000	補委 学術振興会
ゲノム薬理学的手法によるパニック障害治療における最適なパロキセチン血中濃度の探索	佐伯 吉規	精神神経医学	1,100,000	補委 学術振興会
ハチアレルギーにおける重症度マーカーの解析とIgEをターゲットとした治療の研究	平田 博国	内科学(呼吸器・アレルギー)	1,600,000	補委 学術振興会
ゲノム薬理学的手法によるパニック障害治療におけるファーマコダイナミクス解析	上田 幹人	精神神経医学	1,100,000	補委 学術振興会
転写因子による造血制御機構と白血病発症機構の解析	三谷 絹子	内科学(血液)	3,300,000	補委 学術振興会
基底核が早期情報処理障害にもたらす影響の病態解明	平田 幸一	内科学(神経)	600,000	補委 学術振興会
線維性皮膚疾患におけるI型コラーゲン遺伝子転写調節機構の解析	簗持 淳	皮膚科学	700,000	補委 学術振興会
鉄イオン調節を用いた肝細胞癌に対する免疫療法に関する基礎的研究	窪田 敬一	第二外科学	1,100,000	補委 学術振興会
ハプロタイプ解析を用いた日本におけるサイログロブリン遺伝子異常の由来について	菱沼 昭	臨床検査医学	1,700,000	補委 学術振興会
白血病関連転写因子TELのES細胞を用いた機能解析と新規結合蛋白の同定	江口真理子	内科学(血液)	1,000,000	補委 学術振興会
Runx1の標的遺伝子の網羅的スクリーニングおよび発生工学的機能解析	山形 哲也	内科学(血液)	1,000,000	補委 学術振興会
難治性小児白血病におけるアポトーシス抑制蛋白SURVIVINの発現機構の解明	黒澤 秀光	小児科学	1,000,000	補委 学術振興会
気管支喘息に対するカンナビノイド作動薬の治療応用に関する基礎研究	吉原 重美	小児科学	700,000	補委 学術振興会
パニック障害に対するオーグメド薬物治療計画立案のためのゲノム薬理学的研究	下田 和孝	精神神経医学	1,100,000	補委 学術振興会
脊椎症性脊髄症に対する減圧術が局所脊髄血流量に与える影響	荻野 雅宏	脳神経外科学	1,300,000	補委 学術振興会
高圧酸素療法が靭帯損傷の治療過程に与える効果に関する研究	玉井 和哉	整形外科	1,200,000	補委 学術振興会
排尿筋収縮における尿路上皮よりの調節因子の同定とRho kinaseの役割	山西 友典	泌尿器科学	1,500,000	補委 学術振興会
嗅粘膜分泌異常における活性好酸球の関与～嗅覚障害の発症と改善のメカニズムの解明	春名 真一	耳鼻咽喉科学	800,000	補委 学術振興会
サイログロブリン遺伝子異常における甲状腺腫発生機構の解明	家入蒼生夫	臨床検査医学	1,200,000	補委 学術振興会
12p13転座型白血病の原因遺伝子TELの発生工学的機能解析	江口 峰斉	内科学(血液)	1,500,000	補委 学術振興会
頰動脈小体と低酸素性化学受容体伝達の遺伝学的個体差について検討	山口 重樹	麻酔科学	3,100,000	補委 学術振興会
口腔癌の浸潤にRECK(MMP抑制膜結合蛋白)が及ぼす影響についての検討	佐々木忠昭	口腔外科学	1,800,000	補委 学術振興会

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
発生工学的手法を用いた白血病関連転写因子の機能解析	三谷 絹子	内科学(血液)	700,000	補委 学術振興会
小児悪性腫瘍患児に対するインターネットを活用した院内学級活動支援の心理学的検討	福島啓太郎	小児科学	500,000	補委 学術振興会
胎生期性ホルモンの空間認知能への影響を粘土の造形表現からみた検討	有阪 治	小児科学	500,000	補委 学術振興会
骨髄異形成症候群に対する病態解明・治療法の開発に関する研究	三谷 絹子	内科学(血液)	24,500,000	補委 厚生労働省
ポジトロンCTのがん診断への応用と診断精度向上に関する研究	村上 康二	PETセンター	12,000,000	補委 厚生労働省
特定機能病院における脳外科手術の原価費用の精密定量と、症例集中がもたらす費用節減効果の検討	金 彪	脳神経外科学	1,626,000	補委 厚生労働省
高血圧管理におけるガイドラインの遵守と目標達成度に関する研究	南 順一	内科学(循環器)	1,400,000	補委 厚生労働省
小児期特異的血液疾患の分子遺伝学的解析	江口真理子	内科学(血液)	1,000,000	補委 厚生労働省
重症心身障害児(者)の病因・病態解明、治療・療育および施設のあり方に関する研究	山内 秀雄	小児科学	1,000,000	補委 厚生労働省
睡眠障害医療における政策医療ネットワーク構築のための医療機関連携のガイドライン作成に関する研究	宮本 雅之	内科学(神経)	560,000	補委 厚生労働省
新しい診療機器の検診への応用とこれらを用いた診断精度の向上に関する研究	中村 哲也	消化器内視鏡センター	3,000,000	補委 厚生労働省
生存率とQOLの向上を目指したがん切除後の形成再建手技の標準化	朝戸 裕貴	形成外科学	2,000,000	補委 厚生労働省
新しい診療機器の検診への応用とこれらを用いた診断精度の向上に関する研究	石川 勉	放射線医学	6,000,000	補委 厚生労働省
新規に発生しているレンサ球菌による劇症型感染症の臨床的・細菌学的解析と、診断・治療に関する研究	吉田 敦	臨床検査医学	1,500,000	補委 厚生労働省
子宮体がんに対する標準的化学療法の確立に関する研究	深澤 一雄	産科婦人科学	1,800,000	補委 厚生労働省
周産期・小児・生殖医療におけるHIV感染対策に関する集学的研究	大島 教子	産婦人科学	主任一括計上	補委 厚生労働省
造血器腫瘍における染色体転座関連遺伝子の基礎的・臨床的研究	三谷 絹子	内科学(血液)	1,700,000	補委 厚生労働省
急性心筋梗塞症と脳卒中に対する超急性期診療体制の構築に関する研究	菊池 研	内科学(心血管・肺)	500,000	補委 厚生労働省
脊柱靭帯骨化症に関する調査研究	野原 裕	整形外科	1,000,000	補委 厚生労働省
乳がん検診における超音波検査の有効性を検証するための比較試験	高田 悦雄	超音波センター	主任一括計上	補委 厚生労働省
片頭痛に対する画期的治療法の開発に関する研究	平田 幸一	内科学(神経)	主任一括計上	補委 厚生労働省
小児期メタボリック症候群の概念・病態診断基準の確立及び効果介入に関するコホート研究	有阪 治	小児科学	主任一括計上	補委 厚生労働省
国内外における医療事故・医事紛争処理に関する法制的研究	寺野 彰	学 長	300,000	補委 厚生労働省
急性および慢性虚血モデルにおける特異蛋白の探索とProteomics解析	小林直彦	内科学(循環器)	7,000,000	補委 文部科学省
低アディポネクチン血症の成因と治療	服部良之	内科学(内分泌代謝)	5,100,000	補委 文部科学省

計50

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Eur J Pharmacol	K201, a multi-channel blocker, inhibits clofilium-induced torsades de pointes and attenuates an increase in repolarization	Hasumi H, Matsuda R, Shimamoto K, Hata Y, Kaneko N	内科学 (心 血管・肺)
Cardiovasc Res	K201 modulates excitation-contraction coupling and spontaneous Ca ²⁺ release in normal adult rabbit ventricular cardiomyocytes	C. M. Loughrey, Otani N, T. Seidler, M. A. Craig, Matsuda R, Kaneko N, G. L. Smith	内科学 (心 血管・肺)
J Cardiol	Right coronary artery to left ventricle fistula associated with three-vessel coronary artery disease: a case report	Araki H, Kageyama M, Inami S, Taguchi I, Abe S, Matsuda R, Mochizuki Y, Kaneko N	内科学 (心 血管・肺)
J Am Geriatr Soc	A pilot study of banxia houpu tang, a traditional chinese medicine, for reducing pneumonia risk in older adults with dementia	Iwasaki K, Kato S, Monna Y, Niu K, Ohru T, Okitsu R, Higuchi S, Ozaki S, Kaneko N, Seki T, Nakayama K, Furukawa K, Fujii M, Arai H	内科学 (心 血管・肺)
Heart	Neopterin is associated with plaque inflammation and destabilization in human coronary atherosclerotic lesions	Adachi T, Naruko T, Itoh A, Komatsu R, Abe Y, Shirai N, Yamashita H, Ehara S, Nakagawa M, Kitabayashi C, Ikura Y, Ohsawa M, Yoshiyama M, Haze K, Ueda M	内科学 (心 血管・肺)
Eur Heart J	Effects of K201 (JTV-519) on excitation-contraction coupling and Ca ²⁺ release in rat ventricular cardiomyocytes	Otani N, Matsuda R, Toyoda S, Matsuda T, Kaneko N, C. M. Loughrey, G. L. Smith	内科学 (心 血管・肺)
Euporean Heart Journal	K201 (JTV-519) improves norepinephrine-induced diastolic dysfunction with preservation of the ejection fraction	Matsuda R, Otani N, Nakajima T, Abe S, Shinozaki M, Hasumi H, Kikuchi M, Kaneko N	内科学 (心 血管・肺)
Pediatric Cardiology and Cardiac Surgery	心臓再同期療法が有効であった重症心不全の小児例	高橋信, 小山耕太郎, 簀義仁, 門崎衛, 石原和明, 外館玄一朗, 佐藤陽子, 千田勝一	内科学 (心 血管・肺)
臨床呼吸生理	慢性心不全患者の睡眠時無呼吸と夜間CO ₂ 呼出量および換気量に与える酸素吸入の影響	有川拓男, 金子昇, 原澤寛, 中元隆明	内科学 (心 血管・肺)
日本小児科学会雑誌	修正大血管転位症に合併した重症心不全に対する心臓再同期と三尖弁置換の併用療法	高橋信, 小山耕太郎, 簀義仁, 外館玄一朗, 佐藤陽子, 千田勝一	内科学 (心 血管・肺)

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Int J Biochem Cell Biol	Peroxisome proliferator-activated receptor gamma (PPARgamma) regulates trefoil factor family 2 (TFF2) expression in gastric epithelial cells.	Shimada T, Fujii Y, Koike T, Tabei K, Namatame T, Yamagata M, Tajima A, Yoneda M, Terano A.	内科学 (消化器)
Oncol Rep	Mutational analysis of the BRAF gene in colorectal mucinous carcinoma in association with histological configuration.	Yoshitake N, Fujii S, Mukawa K, Tominaga K, Fukui H, Ichikawa K, Tomita S, Ono Y, Imai Y, Terano A, Hiraishi H, Fujimori:	内科学 (消化器)
Regul Pept	Regulation of TFF3 expression by homeodomain protein CDX2	Shimada T, Koike T, Yamagata M, Yoneda M, Hiraishi H	内科学 (消化器)
J Gastroenterol	Comparison between endoscopic papillary balloon dilatation and endoscopic sphincterotomy for the treatment of common bile duct stones.	Watanabe H, Yoneda M, Tominaga K, Momma T, Kanke K, Shimada T, Terano A, Hiraishi H	内科学 (消化器)
Leuk Lymphoma.	Fulminant B hepatitis in a surface antigen and hepatitis B DNA-negative patient with diffuse large B-cell lymphoma after CHOP chemotherapy plus rituximab.	Yamagata M, Murohisa T, Tsuchida K, Okamoto Y, Tsunoda S, Nakamura M, Kusano K, Majima Y, Kuniyoshi T, Iijima M, Sugaya H, Hiraishi H	内科学 (消化器)
Invest Ophthalmol Vis Sci	Glypican 4, a membrane binding protein for bactericidal/permeability-increasing protein signaling pathways in retinal pigment epithelial cells	Geraldes P, Yamagata M, Rook SL, Sassa Y, Ma RC, Clermont A, Gao B, Aiello LP, Feener EP, King GL	内科学 (消化器)
Gut.	Transient elastography in patients with non-alcoholic fatty liver disease (NAFLD)	Yoneda M, Fujita K, Inamori M, Tamano M, Hiraishi H, Nakajima A	内科学 (消化器)
Pathobiology.	Nuclear expression of phosphorylated EGFR is associated with poor prognosis of patients with esophageal squamous cell carcinoma.	Hoshino M, Fukui H, Ono Y, Sekikawa A, Ichikawa K, Tomita S, Imai Y, Imura J, Hiraishi H, Fujimori T	内科学 (消化器)
J Gastroenterol Hepatol	Up-regulation of TFF1 (pS2) expression by TNF-alpha in gastric epithelial cells.	Koike T, Shimada T, Fujii Y, Chen G, Tabei K, Namatame T, Yamagata M, Tajima A, Yoneda M, Terano A, Hiraishi H	内科学 (消化器)
Inflamm Bowel Dis.	Human papillomavirus infection is involved in the development of colonic squamous cell dysplasia in ulcerative colitis-associated carcinogenesis.	Yoshitake N, Fukui H, Fujii S, Mukawa K, Tominaga K, Sekikawa A, Tomita S, Ichikawa K, Imura J, Nakajima K, Nezu R, Yamada Y, Yoshihara H, Hiraishi H, Fujimori T	内科学 (消化器)